

平成 14 年度 社会実験実施地域の選定地域一覧

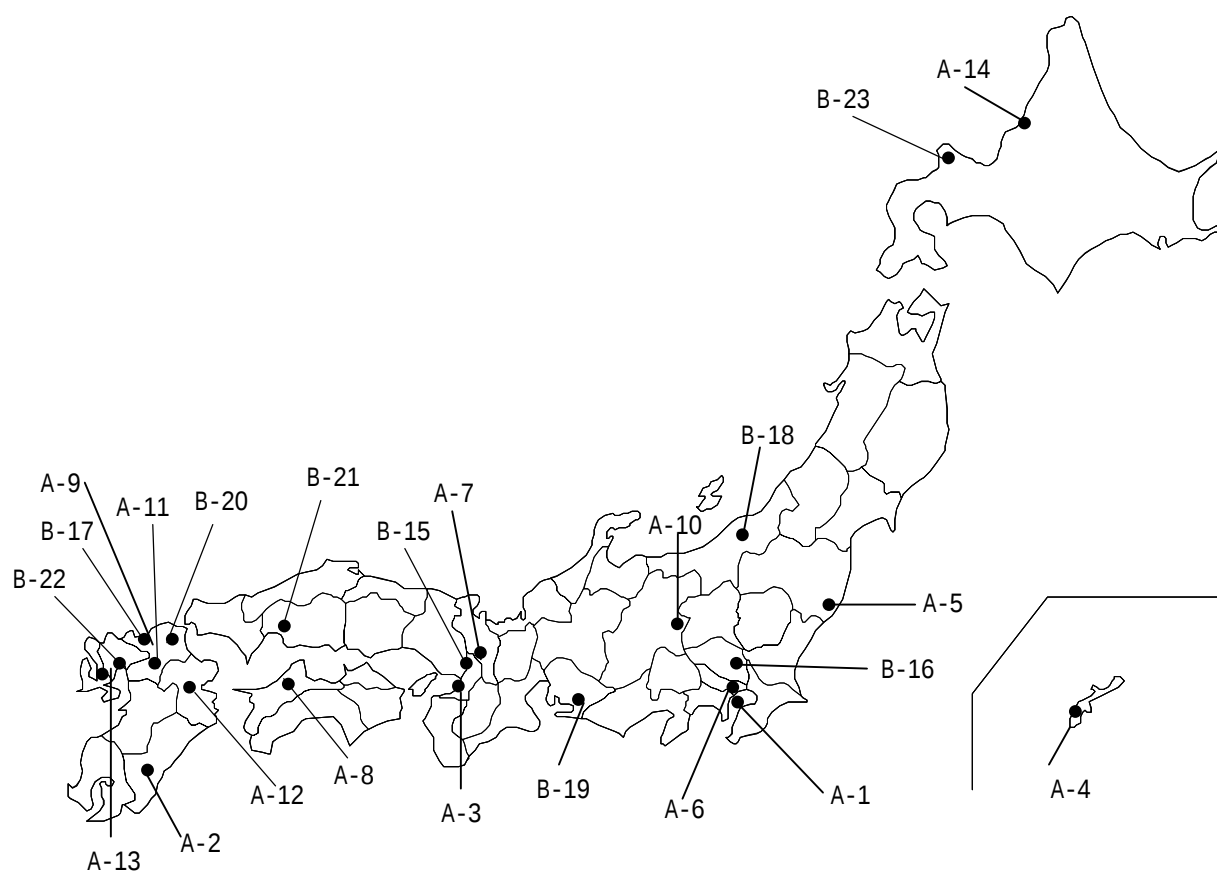
A：現地での実験を実施する地域（14 地域）

No	テーマ分類	実施地域	主な実施施策
1	高速道路の有効活用	千葉県、 神奈川県 他	【東京湾アクアラインの利用促進に関する社会実験】 アクアラインの利用促進を図り、湾岸道路等の交通の円滑化、周辺地域の振興を目的に、ETC 利用者を対象とした通行料金の割引やイベント等の有効性を検証する。
2	高速道路の有効活用	宮崎県 清武町	【高速バス利用促進等による広域交流および交通円滑化実験】 通勤・通学時の交通円滑化を目的に、高速バスや鉄道へのパークアンドライドや、駅・バス停でのレンタルサイクルなど多様な交通手段の提供の有効性を検証する。
3	道路空間の有効活用	大阪府 大阪市 (御堂筋)	【「御堂筋ミナミエリア：魅力ある回遊道の創出」社会実験】 御堂筋ミナミエリアにおいて魅力ある回遊道を創出するうえで、副道の一部の歩行者への開放や駐輪対策など道路空間再編の有効性を検証する。
4	道路空間の有効活用	沖縄県 那覇市	【那覇市国際通りトランジットマイル社会実験】 那覇市の中心部に位置する国際通りの活性化を図るうえで、トランジットモール導入や、開業予定のモレール駅を結ぶトランジットバス運行などの有効性を検証する。
5	バス利用の促進	福島県 いわき市	【高齢化社会に対応した病院循環バス実験】 高齢化社会の進展に対応して、病院玄関に小型循環バスを乗り入れ、同時に運行情報提供装置を待合室に設置し、住民の利用意向や問題点を検証する。
6	自転車利用の促進	東京都 台東区 (上野駅前)	【地域に密着した都市型コミュニティサイクルシステム実験】 放置自転車対策を目的に、専用サイクルポートを9箇所設置し、IDカードを用いて貸出・返却を行うコミュニティサイクルシステムの導入と自転車走行空間設置の有効性を検証する。
7	自転車利用の促進	京都府 京都市 (御池通周辺)	【歩行者系と自転車系のリンケージモデルの創出】 観光地京都において、レンタルサイクル導入および自転車と歩行者のすみ分けやNPO等とのパートナーシップのあり方を検証する。
8	自転車利用の促進	愛媛県 松山市	【エコ松山における「歩いて暮らせる街づくり」の実現に向けた社会実験】 松山市中心部において、自動車に依存しないまちづくりを進める上で、自転車通行帯の設置やプリング型駐輪場と一体となったレンタルサイクルの導入などの有効性を検証する。
9	タウンモビリティ	福岡県 福岡市 (天神)	【ITS を用いたインターモビリティ社会実験】 天神の中心部において高齢者など歩行弱者の移動支援を目的に、電動スクータの貸出し及びIT機器によるバリアフリー経路情報の提供の有効性を検証する。
10	観光地の交通円滑化	長野県 軽井沢町	【国際観光都市軽井沢・回遊性向上実験】 軽井沢の交通渋滞対策としてパークアンドライド（鉄道、バス）や、回遊性向上のための官民協働のレンタルサイクルなど総合的な交通対策の有効性を検証する。
11	観光地の交通円滑化	福岡県 太宰府市	【交通渋滞対策のための移動方法転換実験】 太宰府の交通渋滞対策として、マイカーの臨時駐車場への導入、パークアンドライド（電車、バス、レンタルサイクル）などの総合的な交通対策の有効性を検証する。
12	観光地の交通円滑化	大分県 湯布院町	【湯布院・いやしの里の歩いて楽しいまちづくり交通社会実験】 湯布院らしい交通環境を実現するうえで、観光中心地区への自動車進入制限、歩行者天国、パークアンドライド（鉄道、バス）、レンタルサイクルなどの総合的な交通対策の有効性を検証する。
13	観光振興(道の駅の活用など)	長崎県 平戸市他	【ITS を活用した「オランダ街道」交流街道化実験】 地域間の交流や連携による魅力あるオランダ街道を実現するうえで、ITS を活用した歩行者等への情報提供の有効性や、住民主体の多様な取り組みによる連携意識の醸成等を検証する。
14	道路管理の協働	北海道 留萌市	【地域協力による道づくりを考える社会実験】 少子高齢化や過疎化が進む積雪寒冷地のコミュニティの活性化を図るうえで、冬季の除雪活動および夏季のガーデニング活動を地域協働で行うことの有効性を検証する。

B：実験の熟度を高める地域（9地域）

No	テーマ分類	実施地域	主な実施予定施策
15	高速道路の有効活用	大阪府 北 大阪地域	【有料道路の利用促進による渋滞緩和と地域振興】 阪神高速道路の利用者に対して北大阪地域の集客施設利用の割引などにより、当該地域への一般道路の渋滞緩和や有料道路の利用拡大に役立つかどうかを検証する。
16	道路空間の有効活用	埼玉県 岩槻市	【岩槻市自転車を中心としたまちづくり社会実験】 岩槻駅前の中心市街地の交通渋滞緩和及び賑わいの創出を図るうえで、車両の一方通行化、車道と分離した自転車・歩行者通行帯の設置などの道路空間再編の有効性を検証する。
17	道路空間の有効活用	福岡県 福岡市 (博多区)	【道路空間のコミュニティインフラ化 in 博多】 博多都心部空洞化に歯止めをかけ、都心部再生を図るうえで、地区内道路の一方通行化や歩行者天国などの道路空間の再編が有効かどうかを検証する。
18	バス利用の促進	新潟県 三条市	【コミュニティバス有効活用による企業参加型TDM実験】 平成10年に開始したコミュニティバスの有効活用を図るため、路肩を利用したバスレーン設置、企業通勤バスとの協力の可能性について検証する。
19	バス利用の促進	愛知県 豊田市	【簡易デマンドシステムを導入した「玄関口」バス運行実験】 「中心市街地バス」の利便性向上を図るうえで、バス停を公共施設・病院・大型店舗の玄関口に設置し、乗客の存在時のみ施設内に進入する簡易デマンドシステム導入の有効性を検証する。
20	バス利用の促進	福岡県 北九州市	【既存交通インフラを活用したレーンバス導入の実験】 副都心「黒崎」～芦屋町間へ快速バスの導入に際して、電車廃線跡地などを利用したバス専用道や優先レーンの設置することの有効性や課題等を検証する。
21	自転車利用の促進	広島県 広島市 (紙屋町)	【都心商業地区における歩行者と自転車の共存化に関する実験】 広島市中心部の商店街地区において歩行者と自転車の交通環境の改善を目的に、自転車乗り入れ禁止区域や自転車走行支援ゾーンの設定、分散型の駐輪場設置などの有効性を検証する。
22	歩行者の交通安全対策	佐賀県 佐賀市	【地区交通環境改善プログラム - 通学路の安全性 - 】 通学路において、速度規制の見直し、ハンプの設置、通行規制などの社会実験を行い、小学生、住民、ドライバー、それぞれの反応などを把握し、交通対策事業に役立てる。
23	観光振興(道の駅の活用など)	北海道 後志支庁	【広域ドライブ観光に関する総合的道案内システムの実験】 後志地域の観光振興を図るうえで、民間と行政の協働およびIT技術の活用により、観光・地域情報・道路・気象情報等を統一的・広域的にドライバーへ提供することの有効性を検証する。

注) 番号は、次頁の位置に対応



平成 14 年度 社会実験実施地域の選定地域一覧